

萌黄 (もえぎ) 通信

「もえぎ」、とは私の一人娘の名前です。誕生年と創業が同じなんです。



みなさん、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。今年の前半は不況の影響がまだ続くとの見通しが出ていますが、去年から、厳

しい状態は十分に味わっているのです、今年は、経済状況がどのようであろうとも、気持ちだけは前向きにしようと感じる堀内貢次です。今年も、忙しくいろんな現場へ出向きたいと考えております。

「うろこの家」

先日、関西方面へ現調があり、午前中がフリーでしたので、神戸の異人館によってきました。その中でも、天然スレートを外壁に使用し、楕円形に切り取ったスレートがさかなの鱗

に見えるので「うろこの家」と呼ばれているこの建物は、以前から一度見学したかった建物です。グレーと薄茶のスレートを使って重ね張りしていて、かなり凝った作りになっています。屋根葺きでは、見かけたことがありますが、壁材使用は珍しいですね。



その後は、大阪市内で現調及びテスト施工をし、ご飯では街中も散策してきましたが、世の中不景気と言われていますが、商店街で働く人たちは皆活気があって、大阪の底力を感じました。

「チャペルのバージンロードの研磨」

今月の石材メンテナンスは、結婚式場の教会の大理石ダイヤモンド研磨施工です。長年に渡りチャペルのバージンロードは参列者の歩行で、大理石が摩耗してきて、全体的にライトの光がくすんで見えてきてしまいました。教会などは、スポットライトが強く当たる所で、大理石の反射が良いとかなり雰囲気も出るとの事で、今回ダイヤモンド研磨の依頼が来ました。まずは、全体的に石材クリーニングを行います。以前にローソクを使用していた為、蠟の固まりが所々にあり、それらの凹凸物は研磨の妨げになるので綺麗に削ぎ落します。それからダイヤモンド研磨をしていきます。全体的に敷石の中心あたりに歩行傷が入っていて、特にヒールの傷は線として深く

出ているので、#400のダイヤから立ち上げていきます。#3000くらいまで立ち上げてくると、大理石のページユ



色も映え、電球のライトもくっきりとしてきました。最後に#8000とパフ仕上げして、研磨の砥ぎ粉を拭き上げ、翌日に防汚コートを塗布して完了しました。



両面テープ跡の除去

両面テープで固定していたものを剥いたら、そのまま後が残ってしまったようです。テープノリの成分が石目にまで入り込むと、テープの形通りに濡れジミが出てしまいます。対処は、まず表面に残っているノリを除去し、それから、比較的乾燥の早いシンナーを何回も塗っていき、ノリの成分をしっかりと溶かすことです。この工程を繰り返しても、深く入り込んだノリの成分が取りきれない場合は、全体的にブラッシング洗浄をして、表面を研磨していき



ます。乾燥後に目立つ部分があれば、部分的に手直しをして完了です。

(編集後記) 今回は、せっかく関西に行ってきたので、大阪と言え、粉もんということで、たこ焼き、お好み焼きに挑戦しました。個人的には、お酒の相性のいいネギ焼きが大好きですね。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 タスク内

(電話) 03-3431-0387 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) kandsstg@jt4.so-net.ne.jp